



2020年3月5日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 谷 匡 治  
(コード番号：4584 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 栄 靖 雄  
経 営 管 理 本 部 長  
(TEL. 03-6222-9547)

## 名古屋大学との歯髄幹細胞を活用した脊髄損傷の治療法創出に向けた 共同研究契約締結のお知らせ

この度、当社は、国立大学法人名古屋大学と脊髄損傷に対する新たな治療方法創出に向けて、共同研究契約（以下、「本契約」といいます。）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本契約締結の目的及び理由

当社は、2018年度より新たな事業ステージを指すGTS3.0「バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー」を目標に掲げ、これまでの事業活動で得てきたバイオ技術に関するノウハウ及び知見を最大限活用し、従来より手掛けてきた希少疾患、難病に加えて、小児疾患を重点的なターゲットと定め、これらの疾患に悩む患者様、そのご家族や介護者の方を含めた包括的なケアを目指して、新薬のみならず新たな医療の開発・提供に取り組んでおります。本契約は、当社の再生医療事業の基盤となる歯髄幹細胞を活用して当該疾患の新たな治療方法の創出を目指すものであります。

脊髄損傷は、主に交通事故やスポーツ事故により、脊髄の中樞神経が損傷されることにより生じる運動・感覚機能障害です。中樞神経は末梢神経と比べて自己再生能力が著しく低いため、脊髄損傷を被った患者様は一生に渡って、歩行困難や感覚麻痺といった不自由な生活を余儀なくされておられます。治療としてはリハビリテーションが行われますが、その効果は限定的であるため、新たな治療法が長く待ち望まれてきました。幹細胞を用いた再生医療はその候補として大きな期待を寄せられており、これまで多くの研究成果が報告されております。中でも歯髄幹細胞はその優れた神経保護作用および神経再生能力により、神経機能の低下を防いだり、失った神経機能を回復できる可能性を有しています。

名古屋大学医学部附属病院脳神経外科では、各種の脊髄疾患に対する豊富な手術実績を有し、脊髄損傷を含む多くの患者様の手術治療を行う一方、神経再生に関する基礎研究も精力的に進め、研究成果を挙げてきました。この度、当社が所有する歯髄幹細胞を活用した新たな治療法創出の可能性について、当社と意見が一致したことにより、共同研究を実施することで合意いたしました。

## 2. 本契約の内容

当社の完全子会社である株式会社セルテクノロジーにて調製したヒト歯髄幹細胞を用いて、当社、及び名古屋大学医学部附属病院にて、脊髄損傷に対する新たな治療法創出に向けた基礎研究を共同で行います。

## 3. 本契約の相手先の概要

(1) 名称	国立大学法人名古屋大学医学部附属病院
(2) 所在地	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地
(3) 院長	小寺 泰弘
(4) 対象研究室	脳神経外科

## 4. 今後の見通し

本件に伴う 2020 年 3 月期の業績への影響は軽微の見通しです。

以 上